

笠岡市長から市民の皆様へのメッセージ

このたび、本市職員1名の新型コロナウイルス感染症の感染が確認されました。本市職員が新型コロナウイルス感染症に感染した事例は37例目となります。

本市職員37例目は笠岡市立市民病院に勤務する職員です。当該職員は5月11日（水）にPCR検査を実施、同日、陽性が確認されました。

岡山県の調査では現時点において、職員及び来院者に濃厚接触者はいないと連絡を受けています。

当該職員の往来のあった場所については、消毒作業が完了しており、関係者も検査で陰性が確認されていることから、現段階で院内感染は発生していないものと判断し、感染防止対策を徹底して通常どおり、外来診療、救急患者の受入れ、新型コロナウイルスワクチン接種などの業務を継続しています。

今後、皆さまに安心して来院していただけるよう、院内の清掃や消毒、換気、マスク着用などの感染予防対策を改めて徹底するとともに、感染者が確認された部署においては当面の間、職員のPCR・抗原検査等により毎日の体調確認を実施しながら、医療提供体制の維持に努めていきます。

連日、職員の感染が確認されており、ご心配をお掛けして申し訳ございません。

現時点で市民病院の来院者に濃厚接触者はいないと連絡を受けていますが、笠岡市立市民病院に来院された方で、発熱や体調不良等がある場合は笠岡市新型コロナウイルス感染症対策本部（0865-69-2222）、笠岡市立市民病院（0865-63-2191）、

岡山県新型コロナウイルス受診相談センター（備中保健所井笠支所：0865-69-1675）又は、かかりつけ医に相談していただくようお願いします。

本市にあっては、職員のマスク着用や定期的な消毒及び換気、出勤前の検温、職員自身の体調管理など、また、家庭内においても、こまめな換気と手指消毒や普段からの体調管理の徹底及び少しでも体調に不調を感じたら受診するなど基本的な感染防止対策をお願いします。庁内でのクラスター発生により業務などが一時停止することがないように努めていきます。

市民の皆さまにおかれましても、一刻も早く感染が収束するよう、これまで同様に感染予防対策の徹底をお願いします。

令和4年5月13日

笠岡市長 小林嘉文